

高等教育自学考试日语专业系列教材

日语口译



にほんご ふうやく

丁莉 / 编著

出迎え

見学と鑑賞

中国最新事情

IT と情報社会

帰国



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

高等教育自学考试日语专业系列教材

图书在版编目(CIP)数据

日语口语 / 丁莉编著. — 北京: 北京大学出版社, 2009.8

(高等教育自学考试日语专业系列教材)

ISBN 978-7-301-15214-3

I. 日… II. 丁… III. 日语—口语—自学参考资料 IV. H382.2

中国版本图书馆CIP数据核字(2009)第158498号

日语口语

丁莉 编著

书名: 日语口语

责任编辑: 王 莉 著者

责任印制: 梁 颖

标准书号: ISBN 978-7-301-15214-3 · H · 3303

出版发行: 北京大学出版社

地址: 北京市海淀区成府路205号 100871

网址: www.pup.cn

邮 政 电 话: 编辑部 62752015 发行部 62752072 印刷厂 62752017 出版部 62752022

电子邮箱: bjingup@pup.pku.edu.cn

印 刷 厂: 北京印刷集团有限责任公司

经 销 处: 新华书店

1787毫米×1092毫米 16开本 11.2印张 228千字

2009年9月第1版 2009年9月第1次印刷

定 价: 30.00元(含邮费)



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

未经许可, 不得转载
侵权必究, 违者必究
举报电话: 010-62752022

图书在版编目(CIP)数据

日语口译/丁莉编著. —北京:北京大学出版社,2009.9

(高等教育自学考试日语专业系列教材)

ISBN 978-7-301-15714-5

I. 日… II. 丁… III. 日语—口译—高等教育—自学考试—教材 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 159436 号

书 名: 日语口译

著作责任者: 丁 莉 编著

责任编辑: 兰 婷

标准书号: ISBN 978-7-301-15714-5/H·2307

出版发行: 北京大学出版社

地 址: 北京市海淀区成府路 205 号 100871

网 址: <http://www.pup.cn>

电 话: 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62767347 出版部 62754962

电子信箱: zbing@pup.pku.edu.cn

印 刷 者: 北京飞达印刷有限责任公司

经 销 者: 新华书店

787 毫米×1092 毫米 16 开本 17 印张 338 千字

2009 年 9 月第 1 版 2009 年 9 月第 1 次印刷

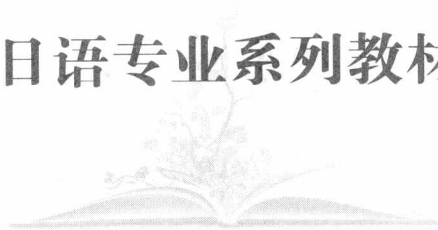
定 价: 36.00 元(附赠光盘)

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

版权所有,侵权必究

举报电话: (010)62752024 电子信箱: fd@pup.pku.edu.cn

《高自考日语专业系列教材》总序



《高等教育自学考(简称“自考”或“高自考”)是对自学者进行的以学历考试为主的高等教育国家考试,是个人自学、社会助学和国家考试相结合的高等教育形式,是我国社会主义高等教育体系的重要组成部分。其目的是通过国家考试促进广泛的个人自学和社会助学活动,推进在职专业教育和大学后继续教育,造就和选拔德才兼备的专门人才,提高全民族的思想道德、科学文化素质,适应社会主义现代化建设的需要。目前,高等教育自学考试已成为我国规模最大的开放式高等教育形式。

北京市于2006年开设了高等教育自学考试日语专业(本、专),主考院校是北京大学。随着人才市场需求的变化,日语专业的考生每年都在迅速地增长,形势喜人。

为满足自考生的需求,在北京大学出版社的策划下,北京大学外国语学院日本语言文化系负责编写了这套《高等教育自学考试日语专业系列教材》,包括《初级日语》、《中级日语》、《高级日语》、《日语视听说》、《日语会话》、《日本文学选读》、《日语写作》、《日语笔译》、《日语口译》、《日语语法教程》、《日本概况》等。这套教材的特点是重视实践,有利于应用型人才的培养。教材编写以北京大学外国语学院日本语言文化系的教师为主,同时还动员了一些兄弟院校的教师加盟这项工作,执笔者都是教学经验丰富的教师和教学骨干,欢迎广大考生和读者提出批评和修改意见。

衷心地祝愿高自考日语专业不断扩大,顺利健康地发展下去。

北京大学外国语学院日本语言文化系教授、博士生导师
北京市高自考日语专业委员

彭广陆

2009年3月31日

前 言

《日语口译》是北京市高等教育自学考试日语口译课程的指定教材，同时也可用作日语专业本科三四年级学生的口译课教材或参考书，以及希望从事口译工作的广大日语学习者的学习参考书籍。

本书内容由浅入深，从一般接待、生活场景进入到专门话题，难度逐渐加大。题材丰富，涵盖面较广，同时也有很强的针对性。全书共16个单元，每个单元的课文及配套练习均围绕一个主题展开。前半部分（1—8单元、16单元）以一般接待及生活场景为主，包括机场接送、日程介绍、宴会致辞、观光游览、参观欣赏、衣食住行等。后半部分则为口译工作中常见的一些专门话题，包括政治与中日关系、经济发展与金融、IT与信息社会、环境问题与环境保护、中日文化交流、奥运与体育、休闲娱乐等七个主题。此外，每单元在课后均配合课文配有扩展词语、中译日、日译中练习以及学习之窗，帮助读者进一步巩固、消化以及扩大词汇量、知识面。

为了帮助读者进入角色、加深印象，更好地理解 and 掌握课文内容，本书采用一个完整故事情节。以日本樱咲大学研修交流团访问中国北京京华大学为主线，从“第一单元 迎接”到“第十六单元 回国”，课文均以两所大学的老师和同学之间的各种交流形式展开。前半部分是京华大学日语系为樱咲大学交流团开欢迎宴会、陪同他们在北京市内参观、旅游、购物等，后半部分则以两校学生共同举办中日学生联合论坛的形式展开。

本书根据口译教学的特点、结合口译工作的需要，力求做到内容实用、话题新颖、角度开阔、语言生动。读者在学习时，结合所附录音进行听、说、译三方面的综合练习，可以掌握口译基本技能，为口译工作打下扎实的基础。

在本书编写过程中，北京大学外国语学院日语系教授孙宗光先生对初稿进行

了审定，提出了很多有益的修改意见和建议，北京大学日语系赫杨、刘苏曼、于泓洋三位同学参与了初稿草案编写、查找资料、做了大量辅助性工作，在此一并表示衷心的感谢。

由于时间仓促、水平有限，难免有错误及不妥之处，恳请诸位大家、读者批评指正。

丁莉

2009年8月

目次

- ユニット1 出迎え / 1
でむか
- ユニット2 歓迎宴 / 9
かんげいえん
- ユニット3 観光 / 17
かんこう
- ユニット4 見学と鑑賞 / 26
かんしやう
- ユニット5 中国最新事情1——ショッピングとファッション篇 / 35
- ユニット6 中国最新事情2——食事篇 / 43
しょくじ
- ユニット7 中国最新事情3——住宅篇 / 53
じゆうたく
- ユニット8 中国最新事情4——交通篇 / 63
こうつう
- ユニット9 政治と中日関係 / 72
- ユニット10 経済発展と金融 / 80
きんゆう
- ユニット11 ITと情報社会 / 89
- ユニット12 環境問題と環境保全 / 99
- ユニット13 中日文化交流 / 109
- ユニット14 オリンピックとスポーツ / 119
- ユニット15 レジャーとエンターテインメント / 128
- ユニット16 帰国 / 138

参考译文

- 第1单元 迎接 / 150
- 第2单元 欢迎宴会 / 155
- 第3单元 旅游 / 160

- 第4单元 参观与观赏 / 165
- 第5单元 中国最新情报1——购物与时尚 / 171
- 第6单元 中国最新情报2——饮食 / 176
- 第7单元 中国最新情报3——住宅 / 183
- 第8单元 中国最新情报4——交通 / 189
- 第9单元 政治与中日关系 / 195
- 第10单元 经济发展与金融 / 200
- 第11单元 IT与信息社会 / 205
- 第12单元 环境问题与环境保护 / 211
- 第13单元 中日文化交流 / 216
- 第14单元 奥运与体育 / 222
- 第15单元 休闲娱乐 / 227
- 第16单元 回国 / 233

参考答案

北京市高等教育自学考试课程考试大纲

ユニット1 でむか 出迎え

一、くうこう 空港での出迎え



張： あのう、失礼ですが、桜咲大学中国研修交流団の上杉先生でいらっしゃいますか。

上杉： はい、上杉です。

張： 京華大学の張です。学生と一緒にお迎えに参りました。こちらは今回の交流活動担当の学生代表、王さんと孫さんです。

王： 初めまして、京華大学日本語学科3年の王文洋と申します。北京へようこそいらっしゃいました。

孫： 日本語学科3年の孫莉と申します。どうぞよろしくお願いたい致します。

上杉： こちらこそ、桜咲大学の上杉です。本日はわざわざお出迎え頂き、恐おそれ入いります。これから一ヶ月間よろしくお願いたい致します。

張： どういたしまして。ご来訪らいほうを心からお待まちちしておりました。

上杉： 飛行機ひこうきが少し遅おそれ、荷物にもつが出てくるのも時間がかかったので、だいぶお待ちになったでしょう。申し訳わけございません。

張： どういたしまして。皆さん、おそろおそろいになりましたでしょうか。お荷物にもつのほうは大丈夫でしょうか。

上杉： はい、全員揃そろいました。荷物も確認かくにんしました。よろしくお願いたいします。

張： それでは、マイクロバスを待まちたせておりますので、駐車場ちゅうしゃじょうのほうへ参まゐりましよう。どうぞこちらへ。

王： お荷物をお持もちましようか。

上杉： いや、大丈夫です。軽かるいものですから。ありがどう。

王： 北京は初めてでいらっしゃいますか。

上杉: いいえ、もう十回目くらいになるでしょうかね。北京が大好きですから、しょっちゅう来てますよ。

王: そうですか。今回のご滞在できっともっと好きになって頂けると思いますよ。

孫: 私たちは今回の交流活動、そして桜咲大学の先生や皆さんにお目にかかるのをずっと楽しみにしておりました。

上杉: しかし、王さんと孫さんはまだ三年生でしょう。日本語が本当にお上手ですね。敬語の使い方も完璧! さすが京華大学の学生。

王&孫: いいえ、とんでもございません。

上杉: あ、ご紹介いたします。こちらは今回私たち訪問団の学生リーダーを勤める田中と山下です。

田中: 初めまして、中国語学科四年の田中健です。

山下: 同じく中国語学科四年の山下幸子です。どうぞよろしくお願ひ致します。

王&孫: よろしくお願ひ致します。

王: 皆さん、本日は道中いかがでしたでしょうか。朝が早かったのでお疲れになったでしょう。

田中: いやいや、東京から北京まで3時間で着いちやうから、疲れなんか全く感じませんでした。山下さんは飛行機の中でずっと寝てましたけど……。

山下: そうなんですけど……。でも、飛行機を降りたらすぐ元気が出てきました。おいしい中華料理が食べられると思ったらね。

王: これから一ヶ月もありますから、ぜひ北京のいろんな美味美食をご堪能下さい。

張: それにしても、皆さんはちょうど北京の一番いい季節においでになりました。今はちょうど「天高く馬肥ゆる」という秋ですから、このところずっと爽やかな晴天が続いています。

上杉: 十月の北京、いいですね。北京の町や公園を散策するのが楽しみです。

田中: 今回の交流団メンバーには初めて中国に来た者が多くて、何かとお手数がかかりますと思いますが、どうぞよろしくお願ひします。

王: こちらのマイクロバスです。それでは、皆さん、どうぞお乗り下さい。

二、道中案内

どうちゆうあんない



王: 皆様、お待たせしました。私は京華大学日本語学科3年の王文洋と申します。私の隣りがクラスメートの孫莉です。私たち二人はこの度京華大学と桜

咲大学の交流活動を担当する中国側学生代表です。また、上杉先生の引率アシスタントとして、これから一ヶ月間皆さんのお世話をさせていただきますことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

全員: よろしくお願ひします。

王: 中国には「友あり遠方より来たる、また楽しからずや」という古い言葉があります。本日は遠路はるばるおいで下さった桜咲大学の皆さんを迎えることができまして、まことにうれしく思っております。どうか中国滞在中は楽しくお過ごし下さいませ。

全員: (拍手)

王: どうもありがとうございます。これからお泊りの梅園飯店まで参ります。梅園飯店は京華大学のホテルで、大学の中にあります。先ほど、初めていらっしゃる方も少なくないとお見えましたので、車中の時間を利用して、北京のことや沿線の場所について二三簡単にご紹介いたします。

先ほど、皆様が降り立ったところは北京空港の第三ターミナルです。2008年2月にオープンしたのですが、北京は10回目だとおっしゃる上杉先生も初めてだそうです。このターミナルは地下2階、地上3階建ての建物ですが、総面積98万平方メートルで、世界一の大きさを誇っています。

上杉: さすが中国、何でもスケールが大きいですね。今第一と第二は国内線のみですか。

張: ターミナル1は主に国内機向けで、ターミナル2はスカイチーム向け、ターミナル3はワンワールド、スターアライアンス向けというふうに振り分けられています。

上杉: ああ、そうでしたか。

王: では、次は北京の概況についてです。

皆さんご存知のように、北京は中国の首都であり、政治と文化の中心でもあります。

北京市は16の区と2つの県からなっており、面積は日本の四国と同じくらいです。人口は約1600万人(2008年現在)ですが、流動人口がかなり多く、出張や観光などで来ている人だけでも1日100万人を超すといわれています。

北京は中国の六大古都の一つです。長い歴史を持っている街として、古代の宮殿、王室の庭園、お寺など歴史的文化的景観が数多く残っています。代表的な観光地は故宮博物院(紫禁城)、天安門広場、明の十三陵、万里の長城、天壇、頤和園などです。一方では、都市建設が急速に進み、地下鉄、高速道路、立体交差、高層マンションなどが次々と建設され、古都の姿を残しながら、活気

あふ 溢れる近代的な国際大都市になっています。

次に北京の気候なんですが、これはあまりよいとは言えません。春は風がよく吹き、砂埃が立ちます。夏は暑いし、冬になると寒いだけでなく、北西の風が吹き、乾燥もひどいです。しかし、北京の秋は「黄金の秋」といわれているように、一年中最もいい季節です。今日もこの通り、空が青く澄み渡り、すがすがしく感じられるでしょう。

皆様、せっかくなのでいい季節においでになったことですから、ぜひ北京の秋を存分にお楽しみ頂きたいと思います。

上杉: 王さん、ずっとしゃべっていて、疲れたでしょう。少し休んで下さいよ。

王: いいえ、大丈夫です。それより、上杉先生、皆様、右手のほうにまもなくあるものが見えてきますから、注意して見て下さいね。

全員: ああ、鳥の巣だ！すごい！

山下: わあ、嬉しい！あれが北京オリンピックの会場ですか。

田中: ああ、あれがウォーターキューブですか。

王: はい、そうです。夜中からライトアップされたら一層きれいに見えますよ。

山下: 近くへ行ってみたいなあ。

王: この辺りはオリンピック公園といって、今公開していますから、見学できますよ。

皆さんの観光・見学スケジュールにもちゃんと入っていますから。

山下: よかった。ありがとう！

三、日程紹介



孫: 皆さん、あと20分くらいかかりますので、この時間を利用して、今回ご滞在の日程についてご説明致します。日程表をお配りしますので、お一人一枚ずつお取りになって後ろの方へ回して頂けますか。

全員: はい。

孫: 今皆さんのお手元にあるのは最新版の日程表です。一つ前のバージョンはEメールでお送りしましたが、その後、皆さんから出されたご要望も含めて、若干変更致しました。では、ご覧頂きながら、簡単にご説明致します。

1日(木曜日)

本日これからの予定ですが、京華大学の梅園飯店に到着してから、チェックインの手続きを済ませます。その後はホテルの部屋で暫し休んで頂き、

午後6時から日本語学科主催の歓迎パーティーがあります。会場はホテルの二階のレストランですから、5時50分に一階のロビーにお集まり頂くということでいかがでしょうか。

歓迎パーティーでは京華大学の学生にも桜咲大学の学生にも出し物をご用意頂きました。皆さんの素晴らしいパフォーマンスを楽しみにしております。異文化交流の第一弾をお楽しみに！

パーティーが終わった後、一応自由行動ということになっておりますが、お買い物をしたい方がいらっしゃったら、大学内のスーパーをご案内します。

2日(金曜日)

朝食はホテルの一階のレストランでバイキングを食べて頂きます。今日はお疲れになったでしょうから、明日の朝は少しゆっくり休んで頂いて、好きな時間に朝食を取って下さい。9時に私と王さんがお迎えに参ります。9時から一時間ほどキャンパスをご案内致します。10時から対外漢語学院の授業を見学します。皆さんの中国語の学習暦やご要望などに沿って、三つのクラスに分けて見学して頂き、次の週から見学するクラスで勉強することになっていきますので、クラスが自分に合っているかどうか、見学のときよく考えて下さい。クラス変更が可能ですので、希望されるのであれば、ご遠慮なくおっしゃって下さい。

昼食は私たちと一緒に学食を食べて頂きます。午後は日本語学科の学生との交流会です。このときお互いに中国語と日本語を教えあう相互学習パートナーを探しましょう。これからの一ヶ月間、一緒に交流しながら仲良く勉強していきましょう。

夕食は学内の竹園というレストランでお取り頂くことになっております。これから学内の場合、一日三食は基本的このスタイルです。学外へ出かけたりする場合はまたその都度決めます。

3日(土曜日)、4日(日曜日)

週末はたっぷり観光して頂こうと思ひまして、土曜日は北京観光のハイライト、万里の長城の観光です。日曜日は中国のシリコンバレーといわれる中関村と、かわいいパンダが見られる北京動物園へご案内します。

5日(月曜日)から

毎日午前是中国語の授業を受けます。午後は太極拳体験、書道体験、武術体験、中国茶道体験、博物館巡りなど中国の文化を体験して頂きます。よく「百聞は一見に如かず」といいますが、「百見は一体験に如かず」とも言えるでしょう。体験してこそ分かりますから、ぜひ奥深い中国文化を肌で感じて頂きたいと

思います。

21日(水曜日)から

中日学生合同フォーラムを行います。中国と日本の政治や経済、IT、環境問題などや堅苦しい話題から文化やスポーツ、流行など楽しい話題まで、さまざまなトピックを取り上げて、一日一回計七回行う予定です。フォーラムはスペシャルゲストを招いて講演をして頂き、あるいは中国側と日本側の学生代表にそれぞれ発表をしてもらい、その後グループ討論をするという形を取ります。

30日(金曜日)

京華大学から北京空港までお見送りいたします。

一応このような日程を組みましたが、他に何かご要望などありましたらいつでもおっしゃって下さい。

上杉: かなり豊富多彩な内容ですね。きっと有意義な交流になると思いますよ。

田中: 団員一同を代表して、お礼を申し上げます。

王: 皆様、梅園飯店に着きました。どうぞお忘れ物のないようにお降り下さい。

【関連単語】(扩展词语)

1. 天气(天气)

风和日丽(うらかな日)

阳光和煦, 暖洋洋(ぼかぼかする、ぼかぼか陽気) 倒春寒(寒の戻り)

五月晴天(五月晴れ) 梅雨(梅雨、梅雨)

万里无云的晴天(快晴の日) 炎热夏日(夏日)

闷热(蒸し暑い、むしむしする) 最高气温30℃以上の日(真夏日)

雷阵雨(夕立) 大雨(大雨)

小雨(小雨) 倾盆大雨(土砂降り)

暴雨(豪雨) 太阳雨(狐の嫁入り)

秋老虎(残暑) 雹子(雹)

晴朗的秋日(秋晴れの日) 小阳春天气, 十月小阳春(小春日和)

凉飕飕(肌寒い) 有点儿凉, 凉飕飕(薄ら寒い)

蒙蒙细雨, 毛毛雨(霧雨) 晚秋小雨(時雨)

最高温不足0℃的日子(真冬日) 寒冷彻骨(底冷えがする)

初雪, 第一场雪(初雪) 鹅毛大雪(牡丹雪)

积雪(積雪)

2. 旅行（旅行）

问讯处（案内所、インフォメーション）

贵宾室（VIPルーム）

扶梯式电梯（エスカレーター）

航班号（フライトナンバー）

登机牌（ボーディング・パス）

商务舱（ビジネスクラス）

机内便餐（機内食）

女空乘员（スチュワーデス）

换钱、兑换（両替）

免税店（免税店）

吃、住、行都包的包办游（パッキングツアー、パッケージツアー）

警察局（警察署）

旅行社代理店、门市（旅行代理店）

失物招领处（遺失物取扱所）

升降式电梯（エレベーター）

小费（チップ）

机票（航空券、航空チケット）

头等舱（ファーストクラス）

经济舱（エコノミークラス）

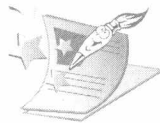
机上服务（機内サービス）

男空乘员（スチュワード）

汇率（レート）

派出所（交番）

加油站（ガソリンスタンド）



練習

一、将下面的中文翻译成日语。

1. 您百忙之中还专程来接我们，真是太感谢了。
2. 今天是正点到达的，入境手续办得也很顺。
3. 请问您现在方便说话吗？我有点急事。
4. 不好意思，××先生现在不在座位上，等他回来以后让他给您打电话吧。
5. 尽给您添麻烦了，实在抱歉。

二、将下面的日语翻译成中文。

1. 北京市は環渤海経済圏における北京・天津・河北3地域の中心都市として、周辺地域との経済的な協調を図りながら効率性の高い発展を志向するものとみられます。
2. 普通話と呼ばれる中国語の標準語は北京の発音を基本としており、これを俗に北京語と呼ぶ場合もありますが、完全に同じではありません。
3. 北京の観光地は数えきれないほど多く、繁華な中心地を抜ければ、五塔寺、万寿寺などの寺院があり、ゆっくり散策するのに最適です。



学習の窓

1. 天高く馬肥ゆる

天高云淡，秋高马肥。

例：日本では秋は「天高く馬肥ゆる秋」と言われるように、豊饒と食欲増進の季節というイメージを持っています。

译文：在日本，人们常说“秋高马肥”，秋天被看作是富裕丰饶和食欲大增的季节。

2. 友あり遠方より来たる、また楽しからずや

有朋自远方来，不亦乐乎。

例：先週、高校の同級生の島田さんが鹿児島からやってきて、一緒に温泉旅行へ行ってきました。まさに友あり遠方より来たる、また楽しからずやです。

译文：上星期，高中同学岛田从鹿児島过来，我们一起去温泉玩了一趟。真是有朋自远方来，不亦乐乎啊。

3. 百聞は一見に如かず

百闻不如一见。

例：百聞は一見に如かずというでしょう。万里の長城のすごさは、見てみないと実感できませんよ。

译文：俗话说：“百闻不如一见”。万里长城的宏伟气势，不亲眼一看是感受不到的。

4. 可愛い子には旅をさせよ

人不磨不成器，树不修不成材。

例：「可愛い子には旅をさせよ」と昔の人は言っていました。動物の世界はもっと厳しいですよ。獅子は子を千尋の谷に突き落とすというんですからね。

译文：从前人们说，要让孩子出去见见世面，经历些风雨。其实动物世界的磨炼更为严峻，据说狮子会把自己的孩子推进深谷呢。

5. 旅は道連れ、世は情け

出门靠旅伴，处世靠人情。

例：「旅は道連れ世は情け」というけど、俺はさすらいの一匹狼、人に縛られる生活は無縁なのさ。

译文：虽说是“出门靠旅伴、处世靠人情”吧，但我漂泊在外独来独往，那种受人羁绊的日子与我无缘。

ユニット2 歓迎宴

一、司会の言葉



王、孫: 皆さん、こんばんは。ようこそ京華大学においでくださいました。

王: ただいまから京華大学日本語学科主催の、桜咲大学中国研修交流団歓迎宴を始めさせていただきます。私は、京華大学日本語学科3年の王文洋です。

孫: 同じく日本語学科3年の孫莉です。私たち二人は今晚の司会進行を勤めさせていただきます。

王、孫: どうぞよろしくお願い致します。

孫: それでは、まず主催者側を代表致しまして、京華大学の陳副学長より歓迎の挨拶を申し上げます。(三. 挨拶1)

王: 続きまして、桜咲大学の杉先生より一言ご挨拶を頂戴したく存じます。(三. 挨拶2)

孫: 杉先生、素晴らしいご挨拶、どうもありがとうございました。皆さん、本日は特別ゲストとして、京華大学日本研究センターの名誉顧問でいらっしゃる李志遠先生にもお越しいただきました。それでは、李先生に乾杯のご発声をお願いしたいと思います。(二. 乾杯の音頭) 皆さん、グラスに飲み物の用意をお願い致します。

王: 李先生、どうもありがとうございました。

孫: それでは、これから歓談の時間とさせていただきます。本日は梅園レストラン自慢の四川料理をご用意いただいております。どうぞ心行くまでご堪能ください。また、ビールやソフトドリンクも用意しておりますので、どうぞ召し上がりながら楽しい時間をお過ごしください。